

評価いただく際の3つのポイント(視点)についての説明

① 効果検証の適正性

～「施策が適切な方向に進んでいるか」を行政自身が適正に検証(CHECK)できているか～

1. 評価のポイント

当初は「施策をこのまま進めてよいか、事業内容が妥当か」という「施策の方向性」を評価いただく予定でした。今回、PDCAサイクルの実効性を向上させるためこの視点を再整理し、委員の皆様には「行政が自ら行った効果検証(CHECK)が適切かどうか」を評価いただきます。

具体的には以下の点をご確認ください。

- ✓ 「事業を実施(DO)して効果が出ている点」がきちんと記載されているか
- ✓ 「事業を実施(DO)して新たに生じた課題」が適切に把握されているか
- ✓ 使用している指標(KPI)が施策の成果(各基本事業のめざす姿)を適切に表しているか

2. 評価区分

A:適切である B:一部見直しの必要あり C:見直しの必要あり の3つから1つを選択

3. 評価部分(施策評価シート該当箇所)

4. 評価の内容(参考)

適切である ◆実施した事業の効果を具体的なデータで示している／事業実施の効果を多角的に検証している
◆新たな課題も正直に記載している／副次的に生じた課題も把握している
◆施策の成果を直接表す指標となっている／目標値とめざす姿が明確に連動している

見直しが必要 ◆事業の実施状況は記載されているが、効果の検証が不十分

- ◆効果は一定程度示されているが課題分析が不十分
- ◆効果・成果が全く記載されていない(活動報告のみ)
- ◆新たに生じた課題の記載がない、または形式的
- ◆KPI が活動指標のみで成果を測れていない／KPI が基本事業のめざす姿と連動していない

② 事務事業改善案の妥当性

～「どのような手段でどう改善すべきか(ACTION)」を、行政自身が適切に考えられているか～

1. 評価のポイント

当初、「進め方や方向性に問題がないか、事業を変更する必要があるか」という「手段の適正性」を評価いただく予定でした。今回、PDCAサイクルの実効性を向上させるためこの視点を再整理し、委員の皆様には「行政が自ら考えた改善案(ACTION)が妥当かどうか」を評価いただきます。具体的には以下の点をご確認ください。

- ✓ 「効果検証で見つかった課題(CHECK)」に対する改善案(ACTION)が適切に記載されているか
- ✓ 改善案の内容が、課題解決につながる妥当なものか

2. 評価区分

A:適切である B:一部見直しの必要あり C:見直しの必要あり の3つから1つを選択

3. 評価部分(施策評価シート該当箇所)

The image shows a 'Policy Evaluation Sheet' (施策評価シート) for 'Disaster Prevention' (防災・危機). The sheet is divided into several sections. A red box highlights the 'Improvement Measures' (改善案) column, and a red arrow points to it from the right. The sheet includes sections for 'Policy Overview', 'Evaluation Results', and 'Improvement Measures'.

4. 評価の内容(参考)

- 適切である ◆効果検証で明らかになった課題に対して具体的かつ実現可能な改善案が提示されている
◆課題ごとに解決策を提示し実施時期や方法が明確／予算や人員面での実現可能性も考慮されている
- 見直しが必要 ◆「啓発する」「対策を強化する」「推進する」「検討する」など改善案が抽象的すぎる
◆効果検証で明らかになった課題に対して原因分析に基づいた改善案になっていない
◆課題との対応関係が不明確
◆いつ、誰が、何を、どのように実施するかが全くわからない
◆KPI が活動指標のみで成果を測れていない／KPI が基本事業のめざす姿と連動していない

③ 施策の進捗状況

～施策が順調に進んでいるのか、やや遅れているのかなど進捗管理～

1. 評価のポイント

当初から「施策の進捗状況」を評価いただく予定でした。今回、評価の焦点をより明確にし、「施策全体の進み具合」を評価いただきます。具体的には以下の点をご確認ください。

- ✓ 基本事業の進捗の内容は妥当か
- ✓ 成果指標の進展度は妥当か
- ✓ 施策自体の進捗状況を総合的に評価

2. 評価区分

A: 良い(順調) B: やや良い(概ね順調) C: やや悪い(やや進捗が悪い) D: 悪い(進捗が悪い)
の4つから1つを選択

3. 評価部分(施策評価シート該当箇所)

※1 基本事業の個別指標の進展度(自己評価)は下記のとおり達成状況を選択しています

- ・増加をめざす指標の場合 $R7 \text{ 実績値} \div R7 \text{ 目標値}$
- ・減少をめざす指標の場合 $R7 \text{ 目標値} \div R7 \text{ 実績値}$
- ・累計値を目標値に設定する場合 $(R7 \text{ 実績値} - \text{現状値}) \div (R7 \text{ 目標値} - \text{現状値})$

進展度	目標達成状況
◎	目標以上に進んだ(100%以上)
○	ある程度進んだ(85%以上 100%未満)
△	あまり進まなかった(70%以上 85%未満)
×	進まなかった(70%未満)

※2 基本事業の進捗状況(自己評価)は効果検証内容と個別指標の進展をふまえ選択しています

進展度	目標達成状況
◎	完了(100%以上)
○	計画通り進めている(85%以上 100%未満)
△	やや遅れている(70%以上 85%未満)
×	遅れている(70%未満)

4. 評価の内容(参考)

- 良い(順調) ◆基本施策の個別指標がほぼすべて目標達成以上
- ◆基本事業がほぼすべて計画通り以上に進捗
 - ◆具体的な成果が出ており、住民アンケートの満足度が高い
 - ◆施策のめざす姿に向かって順調に前進

やや良い(概ね順調)

- ◆基本施策の個別指標の一部が目標未達成だが、改善傾向
- ◆基本事業の一部に遅れがあるが、概ね計画通り
- ◆課題はあるが改善案などを継続すれば成果が出る
- ◆全体としては施策のめざす姿に向かって適切な方向に進んでいる

やや悪い(やや進捗が悪い)

- ◆基本施策の個別指標の多くが目標未達成
- ◆基本事業の半数以上が遅れている
- ◆改善策の実施が必要
- ◆施策のめざす姿の達成は困難

悪い(進捗が悪い)

- ◆基本施策の個別指標のほぼすべてが大幅に目標未達成または悪化
- ◆基本事業がほとんど進んでいない
- ◆計画した取組(PPLAN)が実施できていない
- ◆施策のめざす姿のために抜本的な見直しが必要